

第1回バス産業勉強会 議事概要

開催日時：平成20年10月9日（木）15：00～17：00

会場：（社）日本バス協会会議室

事務局より資料説明の後、意見交換が行われた。主な事項は以下の通り。

- バス産業のあり方として、20年後の姿がどうあるのか、というのを基本的なビジョンとして考えていく必要がある。
- 昭和45年以降利用客が減少しているが、バス会社はどのような取組をしてきたのか、事後評価を含め総括的に考える必要がある。
- 地方については、ひとくくりにするのではなく、地方の中でも順調なところと厳しいところを分けた議論をすべき。住民の視点も踏まえつつ、バス産業の議論をしていきたい。
- 都市部を議論する場合は他の公共交通機関との関係についても考えなければならない。
- バス事業者に入っている補助金が適正なのか、よその先進国と比べるとどうなのか等のデータの国際比較が必要。
- 業務形態についても、高速バス・ツアーバス・貸切バス等があり、最近増えてきているコミュニティバスについても必要であれば検討するのもよい。
- 自治体等の取り組むバスによって、地元の民間バスが圧迫を受けている事例もあるとのことなので、公と私の役割についての検討も必要。

以上